

パブリック・サービス研究分科会 夏期研究合宿 報告書	
日時	2012年9月3日(月)～5日(水)
場所	水上温泉の宿・旅館「松乃井」
記録	奥井(文化学園大学)
参加者(氏名五十音順)	太田(立正大学)、奥井(文化学園大学)、高島(獨協大学)、福庭(上智大学)
欠席者	鴨下(大正大学)

この合宿でテーマを決定した。

作業内容

- ① 前回までに発表した内容について、さらに調べたことを各自発表し、それについて意見を交換。
 - ・図書館の「場」としての過ごしやすさ：館内飲食可能エリアの調査／ドイツの図書館の調査。
 - ・業務記録を活用する：利用者の多様なニーズを把握するために。
 - ・学生との関わり方：アンケート・ニーズ・統計→評価。
 - ・大学図書館の学生スタッフについて：学生スタッフの声、今後の課題と方向性。
- ② 第1回からのリマインド。
- ③ 慶応義塾大学加藤先生からの講評
- ④ 各自の発表と先生からの講評を元に、今後のテーマを決定した。
テーマ「大学図書館の場としての多様性」

次回(10月例会)までの課題

- ・文部科学省 HP より作成した大学一覧表に基づき、分担して事例調査を行う。調査項目は「飲食スペース」「他部署との連携」「学生との連携」「従来とは異なるユニークな図書館の使い方」。調査は大学 HP からの確認により行う。

その他

- ・現状把握の方法はアンケートが考えられる。大々的にアンケートを実施する場合は私図協東地区研究会事務所の方に実施の申請などが必要となる。手続きが煩雑なので、パブリック・サービス研究分科会参加大学に呼び掛ける方法もある。
- ・図書館だけでなく、場の多様性を提供している書店などについても調査していく。
- ・千葉大学のアカデミックリンクセンターの見学申し込みをする。

(以上)